

# 河内小だより

平成20年6月17日 No.11



前年度1月29日より掲載した「読解力について」のシリーズをもう一度振り返ってみます。また本校の読書ボランティアとして活動してくださっている、河村 千津美さんよりお薦めの本も紹介していきます。

## 読解力について

(資料：家で楽しく！子どもの読解力がぐんぐん伸びる本 発行：ベネッセコーポレーション)

今の読解力：内容を正しく読み取ったうえで、自分の意見を述べる  
ところまで求められている。

理由：社会に出たとき、相手が伝えようとしている内容を正確に読み取るだけでなく、さらに相手の意見を受けて自分の考えを論理的に伝えることが欠かせないからです。また、文章だけでなく、図式やグラフや地図などから内容を読み取れることも重要な力であると考えられます。

「読解力」は、(1)情報の取り出し、(2)解釈、(3)熟考・評価の3つのプロセスに分けられます。

- (1)内容を解釈するために情報を取り出します。情報の取り出しに必要なのは、気づく力と比べる力です。与えられた情報に対して「どうしてだろう」「なぜだろう」という気づきは、他と比較することから生まれます。他と異なる部分、特徴に注目することから、自分なりの気づきを得ることができます。
- (2)情報がどういう意味をもつのかを考えます。解釈に必要なのは、体験・知識を使う力です。自分の過去の体験や自分の持っている知識と照らし合わせ、情報にあった知識を取り出し使えることが大切です。
- (3)自分はどう考えるのか、どう評価するのかを考えます。熟考・評価に必要なのは、物事を多角的に見る力です。情報を解釈したうえで、他の立場や視点でも同じことがいえるのかと多角的に見る力です。様々な角度から物事を評価し、結論づけることで自分の意見に説得力をもたせます。

## 「早寝 早起き 朝ご飯 元気なあいさつ」運動

今年度も引き続き広島市をあげて「早寝早起き 朝ご飯 元気なあいさつ」運動を行っています。十分な睡眠時間の確保は、学習時間での「脳」の活性化を促します。バランスのとれた食事は、「脳」の活性化や体力向上につながります。コミュニケーション能力の向上は、心をこめたあいさつからです。お互いを知り合うことから、安全面への配慮も行き届くし、困ったときの相談相手の輪も広がります。これらのことは毎日継続することによって、習慣化し効果が現れてきます。根気強く、規則正しい生活習慣を身に付けることが、学力向上につながっていきます。

